会議録（要点筆記）

会議名	令和７年度　米原市環境審議会（第１回）
開催日時	令和７年４月 15 日（火）　午前９時 30 分から午前 11 時 15 分まで
開催場所	米原市役所　４階　会議室４Ａ
出席者および欠席者	出席者：林宰司、須藤明子、松下京平、高田清幸、青木純一、鵜飼康治、横井智規、西村武、澤田隆文、津田千恵子 欠席者：伊夫伎博夫 事務局：（市民部）坂部長　（環境政策課）木村課長、古野課長補佐、鹿取主幹、伊賀並主事 傍聴人：０人 （敬称略）
議題	議事 （１）会長、副会長の選出 （２）令和６年度（令和５年度分）米原市環境報告書（案）について
結論	・委員の互選により会長に林宰司委員、副会長に須藤明子委員を選出した。 ・令和６年度（令和５年度分）米原市環境報告書（案）について審議を行った。 ・事務局は委員意見を踏まえ、環境報告書を作成して公表を行う。
環境政策課長	１　開会
市民部長	２　あいさつ
環境政策課長	３　委員紹介
事務局	４　環境審議会について ※事務局から環境審議会の役割等について説明
事務局	５　議事 （１）会長、副会長の選出 米原市環境審議会規則第２条第１項の規定により、委員の互選により会長および副会長を選出いただきたい。互選の方法をお諮りする。互選の方法について委員から御意見はないか。
委員	意見なし
事務局	事務局から提案してよいか。
委員	異議なし

事務局	異議なしとのことで、事務局から提案させていただく。 会長に滋賀県立大学の林宰司委員、副会長に株式会社イーグレット・オフィスの須藤明子委員に就任いただくことを提案したいが、いかがか。
委員	異議なし
事務局	異議なしとのことで、会長と副会長を選出いただいた。これからは、会長が議長として議事を進行いただきたい。
事務局	（２）令和７年度（令和６年度分）米原市環境報告書（案）について 【第１章　環境の現状（１ページから６ページまで）を事務局から説明】
会長	ただいま事務局から説明のあった内容について、御質問のある委員の方は。
委員	今ほど事務局から紹介のあったごみ減量の啓発動画について、湖北広域行政事務センターでは廃棄物減量等推進審議会があるが、昨年、その審議会で市民の方から確かにごみの量は減っているが自分たちで何をしているのかわからない、自分たちではごみの減量の取組を意識していないが減っているというような意見があった。今ほど紹介のあった生ごみやリユースの取組もそうだが、具体的にどう見せていくか、お知らせしていくかが大事だと思う。長浜市にも米原市がこのような動画で啓発しているということを伝えたいと思う。
事務局	このごみを減らせる取組をお知らせする啓発動画は、今年２月にケーブルテレビの伊吹山放送で市内に放送した。現在でも YouTube で視聴いただけるので、委員の皆様からもご紹介いただければと思う。
会長	自分がしている取組が何の役に立つのか、どれぐらい効果があったかを知ることはとても大事で、環境計画の簡易版のようなもので、例えば省エネで待機電力を節電すればどのぐらい効果があるかと計算できるものもあるので、ごみの削減量も計算できるものもあるかもしれないし、実感をもってもらえるような仕組みがあってもよいと思う。
委員	ごみの量は重さで測っていて、水切りや乾燥させて出すことはごみの減量につながる大事なことなので、湖北広域行政事務センターでも見える化をして発信していきたいと思う。また、湿った状態で施設に持ち込まれると、燃焼効率も悪くなるので水切りや乾燥させて持ち込んでいただくとありがたい。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。

委員	この環境報告書は条例に基づいて公開ということだが、どこに向けて公開するのか。市民に向けてなのか。
事務局	本市の環境基本条例で、市の環境の現状や施策の取組状況をまとめて報告書を作成して公表することになっている。国や県への報告は行っていない。
委員	気がついたのは、報告書の中で市民にこういうことを心がけてほしい、こういう取組をしてほしいというようなことが書かれているとよいと思った。もうひと工夫ほしいなと思ったので意見させてもらった。 それと、ごみの量の推移だが、先ほど人口の推移の説明があったと思うが、ごみの量は人口に比例しているので、単にごみが減ったからと安心するのではなくて、人口減少に伴うごみの減量以外に取組をしっかりしないといけないと感じた。
事務局	御指摘のとおり人口が減っているからごみの量も少しずつ減っているということではなくて、先ほど御意見をいただいたように、市民の方がごみの減量を実感できるような見せ方も考えたい。
会長	今、委員が言われたことはとても大事で、市民が自分たちの住んでいる所をどういう未来にしたいか共有することが計画をつくるときにはとても大事になってくる。もちろん数値で客観的に示すことも必要だが、子供やお年寄りも誰もが共有できるイメージを示すことは計画の重要な要素となる。例えば環境計画の策定のプロセスで、ワークショップを開いたときに、大きいキャンバスに未来絵図を書いてイメージを共有すると効果的だというような研究結果もあるので、すぐにはできないと思うが、計画をつくるとき、こういう報告書をつくるときには心がけてもらいたい。 ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	一人当たりのごみの排出量で、達成したい目標数値はあるのか。
事務局	湖北広域行政事務センターでごみの削減量の目標数値を示しているので、市もそれに準じている。具体的な数値は今持ち合わせておらず分からない。
委員	あとどれぐらい頑張れば目標を達成できるかが分かれば、頑張るきっかけになると思った。 それと、水分があると施設の燃焼効率が悪くなるということだが、イメージとしてどれぐらい悪くなるのかが知りたい。水切りするのは結構手間なので、水切りをして燃焼効率が上がるとこうだとか、環境面はもちろん大事だが、私達の税金がこ

	れだけ節約できたとか、メリットや何か効果が見えると頑張れそうだなと思った。
会長	市民に環境家計簿を提供している自治体もある。環境家計簿は自分がほかの人と比べてどれぐらい頑張っているかがわかるもので、ごみだけではなく、各家庭で電気や水道などの身近なものの効果が見えると、より一層ごみの減量や節電、節水などの取組が進むと思う。
委員	昨年に湖北広域行政事務センターで開催した会議でも感じたが、やはり削減目標が市民の方と共有できているだろうかと。長浜市、米原市の全体の目標数値があるが、目標を御存じない市民の方は多くいらっしゃると思うし、長浜市、米原市の個別の効果や数値も示せていない。先ほどお話のあった、施設の燃焼効率でごみの水切りをしてどれぐらいの効果があるとか、身近なことを分かりやすく発信できればと思う。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	土壌調査の調査地点が、山東地域６箇所に集まっているのは何か理由があるのか。
事務局	旧町から行っている調査で、工場等が立地していく過程で山東地域の方が土壌汚染に対して不安があるとの御意見から調査を行っている。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	水質調査の年次推移のページで、赤文字で書いてある部分があるが、これは何を指すのか。これの意味が書いていない。
事務局	参考値を超える数値を赤文字にして示している。
委員	それは分かるが、説明を書いておいた方がよい。
事務局	説明書きを加えて修正したい。
委員	それと、湧水の大腸菌の結果が「検出」となっているが、ほかは数値だが表記としては正しいのか。
事務局	検査機関からの調査結果が「検出」となっているので、同じように記載している。

委員	調査結果はそうかもしれないが。この表記でよいのかと思った。
委員	参考値を水道水質基準値としているので、「検出」「不検出」と表記しているのではないのか。
事務局	はい、そうです。
委員	今の質問に関連して、居醒の清水の水質結果で、水素イオン濃度（pH）が 12 になっているが、この数値は異常だと思う。正しい数字か。誤りではないかと思うが、もしも数字が正しいなら何か対策を打たないといけない数値だと思う。強いアルカリ性の水質なので大腸菌も生息しにくい。
事務局	確認したい。 ※数値の記載誤り。実際の pH 数値 8.0 に修正する。
委員	居醒の清水で大腸菌が検出されているが、原因は何が考えられるか。
事務局	詳細な分析は行っていないが、動物のフンなども原因として考えられる。
会長	今の御指摘は、データを公表すれば一人歩きしてしまうので、異常値があればそのままにせずに経過観察をして、問題がないか確認すべきということなので、気をつけてほしい。 ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	話は変わるが、自然環境について書かれている部分あるが、ネガティブなことが書かれていて少し残念に思った。伊吹山のイヌワシの記載がないのも残念で、環境基本計画でも 22 ページに少し記載があるだけで、この計画に沿って環境報告書を作成すると、このような記載になるかなと思った。 伊吹山のイヌワシのことを紹介させていただくと、以前からカメラマンが多くなっている問題があり、その解決策として 2023 年に生息を YouTube で公開した。米原市でイヌワシ子育て応援プロジェクトを立ち上げて、基本的にイヌワシは希少種なので生息場所は秘匿するという原則があるが、あえて生息状況を公開する多分全国で初めてではないかと思うが、そのような試みを行った。また、昨年はドライブウェイにカメラマンの進入防止柵を設置して、その効果があってか雛が巣立ちをしている。イヌワシは全国で推定 450 羽生息しているとされ、巣立ちをする雛の数は年間で 20 羽いないという状況で、そのうちオープンに公開して生息状況を見られるというのは非常に貴重なので、先ほど自然環境の説明の中で事務局から伊吹山の

	ことを紹介されたが、セットでイヌワシのことを記載することも検討してはどうか。ネガティブな話題が多い現在の自然環境の分野でポジティブな要素も入れてはどうかと思い、紹介させていただいた。
会長	戦略的にまちの魅力を売り出すというとは大事だと思うので。 ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。 なければ、報告書7ページの環境施策の取組状況について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【第２章　環境の現状（７ページから９ページまで）を事務局から説明】 【補足資料：令和７年度の環境施策の取組を事務局から説明】
会長	ただいま事務局から説明のあった内容について、御質問のある委員の方は。
委員	９ページの二酸化炭素排出量削減目標で、実質排出量とあるが実質とはどういう意味なのか。2050 年度、2030 年度までの長期目標と中期目標が書かれているが、これまでの推移を見ると目標達成は難しいと感じる。実質ゼロとは実際の排出量と森林などで吸収される量を相殺してゼロというように、私なりに理解しているが、その理解でよいか。買ったり売ったりすることも想定しているのか。
事務局	実質ゼロの考え方は委員がおっしゃっていただいた考え方になる。集計している数値は米原市の実績に基づいて算出している。
会長	ということは、ほかの地域は入れずに市内だけでの経済活動に基づいた数値ということでよいか。
事務局	はい。
委員	９ページの括弧３の市域で排出された二酸化炭素排出量を見ると、あと７年ほどで 2013 年度と比較して 53%削減していくということで、米原市だけのことではないが、産業部門、運輸部門の排出量を減らしていくことがポイントだと思う。このあたりは国レベルでの技術革新を待つことになるのか、市でも施策として何かお考えなのか、市で取り組む施策には見えてこないが、何かお考えがあれば。
事務局	国や県でも削減目標がある中で、こうした産業部門や運輸部門の排出量削減というのはやはり市では難しい。国や県の施策に頼る部分になってしまう。市のできる施策を実施していきたい。

事務局	市が実施する施策として、先ほど御説明した脱炭素先行地域事業がある。この事業は令和８年度までの５年間の事業になるが、この事業の実績をいかに市内で横展開していくかが事業に取り組む本質であるので、単に事業として終わることなく現在取り組んでいるところである。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	運輸部門の排出量の値が大きいが、どういった種類の業種がこれに入るのか。
事務局	貨物や輸送業の業種が該当になる。
委員	あと、スマートエコハウス普及促進事業で、宅配ボックスの購入補助を活用できてありがたかったが、申請が分かりにくくて、市役所に電話で聞いて申請した。市内業者での購入が条件でお店に相談したら、お店の方も受付はもう終わったんじゃないのと言われていて、あまり分かっておられない様子だったので、お店とも連携すると市民の方も利用しやすいと思った。
事務局	市の広報などを通じて積極的にPRできればと思う。申請方法についても案内チラシを作成してウェブサイトでお知らせしているが、分かりやすいものにしていきたい。
会長	ただいまの御指摘は、広報だけではなく、お店の販売員の方に説明して、利用者がお店で購入するときに情報が入るように工夫してはどうかという御指摘だと思うが。
事務局	申請の受付期限があるので、利用者とお店にしっかりと説明や周知をしたい。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	よろしいか。環境審議会の委員として恥ずかしい思いをしているが、この会議室、ブラインドを締め切っている。昼間に会議をしているのにまるで夜に会議している感じだ。窓際のライトを消して自然光を取り入れて会議をすることは考えなかったか。この会議室に入ったときにすぐに気がついた。昼間の会議で何でブラインドが落ちているのかと思って。この会議室でも10基ライトを消せば１kWの電力消費ができる。事務局でパソコン操作をされているが画面は見にくいか。そうじゃないと思う。
事務局	窓際のブラインドを下ろしているのは、窓際にマイク装置などの機器があるので

	直射日光を当てないように下ろしている。
委員	理由にもならない言い訳だと思うが。
事務局	移動できる機器は移動して会場の配置と消灯を考えればよかったが、至らず申し訳ない。次回以降気をつけたい。
会長	市の事務事業でも二酸化炭素排出の削減に努力されている中で、できるところは検討の余地があるよという御指摘だと思う。照明や冷暖房は一日の中でも電力使用量に変動があるので、それに合わせて省エネ対策をしようすると人の手間をかけるか、あるいは人の手間をかけるのが大変だったら自動センサーにするとかが有効な手段なので、今後検討が必要かと思うが。
委員	この審議会の委員として、市民の代表として人一倍環境には気を使っているのにこの会場を見て残念に思った。これからも突拍子のないことを言うかもしれないがお願いしたい。大事なことなので。
会長	ほかに、いかがか。
委員	二酸化炭素排出量の算出は外注されているのか。取りまとめにとても手間がかかるので、労力のことを思えば、費用にもよると思うが外注されてはどうかと思った。
事務局	外注はしていない。算出は市職員で行っている。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	７ページの基本理念と環境像は、それぞれの分野で目指す目標が書かれていてよいと思うが、例えばこれが、脱炭素・循環の分野は、順調に進んでいるとか、この分野は進んでいないとか、報告書でも一目で分かるとよいと思う。
事務局	分かりやすく指標を入れて進捗がわかるように、次回の報告書でまとめ方を工夫したい。
委員	指標を入れるのもそうだが、自然環境でも米原市にはこれだけ豊かな自然環境があるというプラスの部分も報告書に書いてあったらよいと思った。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。

委員	区域施策編の二酸化炭素の排出量は国や県の統計データを用いて、按分方式で出しているということだが、事務事業編の排出量は積上げで、数値はどう出しているのか。
事務局	事務事業編は、年度毎に市の公共施設のエネルギー使用量や施策の削減効果を算出して積上式で出している。
委員	そうであれば、米原市が取り組む環境施策の削減効果というのは、区域施策編には反映されないのか。
会長	おっしゃるとおりで、区域施策編には反映されない。
委員	事務事業編では反映できるということか。
事務局	はい、事務事業編には反映される。
委員	統計として反映されなくても、アピールしたほうがよいと思うので、事業の成果が見え始める時期に報告書に明記しておくほうがよいと思った。 それと、この環境報告書は２部構成で、第１章に環境の現状、第２章に市の環境施策の取組の構成になっているが、第２章の内容が二酸化炭素削減の内容に全振りした内容になっている。第１章で現状として書かれている取組が具体的にどのような取組をしているかという点と、市の施策が排出量の削減にどうつながっているのかが、この報告書では分かりにくいので、次回からその点をまとめると、よりよい報告書になると思った。
会長	市の施策が排出量の削減にどうつながっているかという御指摘はとても大事で、補足資料には市の施策をやってどのぐらい削減効果があるか参考数値が書かれているが、この関係性が見えないので、もう少しまとめ方に工夫が必要かと思う。 ほかに御質問のある委員の方は。
委員	意見になるが、７ページの基本理念と目指す環境像は見やすくまとまっているので、この内容を報告書の冒頭に持ってきて、それから現状が書かれているほうがよいと思った。そうすると、分野１にひとの分野があって、市長もシビックプライドということをおってしゃっているので合致すると思った。 もう一つは、子供が身近な水辺や原っぱで遊び自然を深く知るということ。実はこれが今非常に難しい社会になっていると思う。子供は水場で水辺に近づいてはいけない。近づけるような水辺が少なくなってきている。少なくとも私が住んでいる

	地域では、とても子供だけで行かせるような所はないので、その辺の難しさはあるということを思うし、20年ほど前には田んぼの畦や水路で子供たちと水生生物の観察会をやっていたが、そういう大人がおられなくなってきた。地域で関心のある方や、あるいは近くの大学の先生とかがおられると思うので、そういった方を発掘しながら、子供たちがもっと自然に親しんで、将来何十年先になるか分からないが、米原の自然を守っていきたい、米原に住んでそう思える人を育てる、そういう面も政策として検討していただきたいと思う。どうしてもごみの量とか、電気の使用量、二酸化炭素の削減量、そればかりだと市民の機運みたいなもので、だんだんとしんどくなって行きがちなので、報告書なのでそういう面も必要だが、やはり米原の市民がどうあってほしいのか、子供たちがどうあってほしいのかということに触れていただけると、夢がまた持てるかなと、まちづくりに繋がると思った。
会長	他市町の環境報告書では、小中学校の自然観察会とか、NPOの活動を載せているもののあって、私も豊かな自然資源があるのに、その記述がないのが残念に思った。 ほかに、いかがか。
委員	この環境報告書はどのように公開されるのか。市のサイトで公表されると思うが。
事務局	市のウェブサイトで公表したい。
委員	本当は全市民に知ってほしい内容だが全戸配布するのは無理だと思うので、単に載せたら終わりではなくて、多くの人に知ってもらえるように工夫してほしい。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。
委員	個人的な感想になるが、外国人が日本に来られたときに日本の何を評価されているというと、ごみがなくて美しいということを評価されている。我々としては当たり前と思っている環境を海外の方が日本に来られて感心されている。よく豊かさの指標をGDPで順位付けされるが、それだけではなくて、心の豊かさ、教育とかがすごく大事だと思う。米原市の自然など地域資源もたくさんあるので、そういうものも報告書にまとめてアピールしてほしい。
会長	米原市のよい所もまとめていただければと思う。 ほかに、いかがか。
委員	気になっていることを言わせてもらうが、私の自治会に幅２メートルほどの川が

	流れている。川を眺めていて、桜も散りかけている時期なので花びらかと思ったら実は違って、泡が流れてきた。多分、上流で洗濯の水を下水に流さずに、直接河川に流しているのではないかと想像しているが、ちょっと皆さんに聞いていただきたいなと思ってお話した。先ほど、河川の水質調査の話もあったが、見えることはやはり気になるので。そういうところも市民に呼びかけてほしいと思った。
会長	ほかに、いかがか。
委員	４ページの地下水の水質調査で、各調査地点で調査項目が異なるが、これは健康ためとか、あとは環境保全のためとか、例えば工場があるところは人の健康保護のこの項目の調査をしているとか、調査地点によって項目が違う理由は何か。
事務局	ただいま詳細な調査地点の資料がないので、後日報告させていただく。
委員	もう一つは、10 ページの河川水質で３年間の推移があるが、カドミウム以降の項目の人の健康の保護に関する環境基準の数値は基準値以下になっているので、問題がないなら問題なしと書いてわかりやすくしてもよいかと思う。例えば３年の数値をグラフにして、基準値の横線があって、基準値を超えたか超えていないかを見やすくするとか、環境基準の数値に詳しい市民の方ばかりではないと思うので、見せ方のことになるが、そうしてはどうかと思った。
事務局	次回以降になるが、まとめ方を工夫したいと思う。
会長	ほかに御意見や御質問のある委員の方はお願いしたい。 なければ、議事を事務局にお返しする。 事務局は、委員の御意見を踏まえ報告書を作成してほしい。 以上